

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-4-4	事務事業名 障害者(児)スポーツ等支援事業	所管部課 保健福祉部障害福祉課
--------------	--------------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 障害者の健康づくり・余暇活動の一環として、スポーツやレクリエーションの場を設け、障害者のスポーツ参加とそれをサポートするスポーツ指導員の育成を図る。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)障害者の社会 (主要施策)障害者(児)スポーツ等の活動支援
	実施内容、実施方法 毎月1回第3土曜日に実施している。平成19年度から民間活力により更に事業の拡充を図る為事業委託も検討。	根拠法令等 西東京市障害者スポーツ支援事業実施要綱
	事業開始時期 平成 16 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )

評価指標の設定	活動指標名 開催回数	活動指標の考え方(定義) 毎月第3土曜日の午前中に実施する
	広報回数	広報等へのPR回数の徹底
	成果指標名 参加者卒の拡大	成果指標の考え方(定義) 知的障害者・精神障害者・身体障害者への参加拡大

		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
事務事業データ	事業費(A)		0	0	127	304	
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源				127	304	
	所要人員(B)	人			0.09	0.09	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	180	180	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	307	484	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(参加者人数)	千円	0	0	1.23		
	歳入	千円			0		
	活動指標	目標値	回			12	12
		実績値	回			12	
	活動指標	目標値	回			1	1
実績値		回			1		
成果指標	目標値	人			240	300	
	実績値	人			250		
成果指標	目標値						
	実績値						

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	内容は概ね好評。参加者人数が多いと施設が狭い・競技の待ち時間が長いとの意見が出る。また、実施会場がスポーツセンターのみであるため、旧田無側の施設から会場が遠いとの声がある。
	国・都・他市・民間等における類似事業	西東京市文化・スポーツ振興財団事業(スポーツセンター(障害者スポーツ教室)・(障害者スポーツ指導者講習会))・市内民間団体事業(障害者とスポーツを楽しむつどい(西東京市障害者福祉をすすめる会))・他
	運営上の制約条件・外部要因等	平成16年度～17年度には東京都多摩障害者スポーツセンター協賛による指導員の協力派遣を受けられた。

コード 6-4-4	事務事業名 障害者(児)スポーツ等支援事業	所管部課 保健福祉部障害福祉課
--------------	--------------------------	--------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	参加者及び保護者から好意的な評価を得ている。表情が明るくなったり、積極性が見られるようになった参加者がいる。
	必要性 <input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	障害者は学校を卒業すると運動の機会が少なくなる。団体レクリエーションに参加することで、家庭・通所施設・職場とは違った人間と接する経験もできる。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	適正な職員数を配置することで実施している。経費も適正である。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input type="checkbox"/> 問題なし <input checked="" type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	参加者がほぼ固定されている。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	一回の事業参加者数は、20名程度の時に好評であり、25名を超えると会場の狭さについて感想があがるように思われる。しかし、事業計画当初より意見聴取等で協力を仰いでいた参加者で20名を超えてしまい、公募による参加者がまったく募れない状況である。また、ケガ等事故の危険性がある。

17年度における改善点	17年度で東京都多磨障害者スポーツセンターの協賛が終わるため、市民から公募した補助員を中心として進行継続していく。ただし、今後運営についてはスポーツ振興課の同種事業に統合し拡充を図ることや民間委託を検討する。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止
--------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
  - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
  - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
  - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
  - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
  - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。